

粟島海峡をカヌーで横断

子どもたちの冒険心を培い、夢と感動を与えようと、村教育委員会などで行く粟島海峡カヌー横断実行委員会が、8月1日粟島浦村から村上市脇川漁港までカヌーで海を横断しました。

参加したのは、大人8人、中学生3人、小学生1人。この日のために、ふるさとトンボ池や村上市瀬波温泉の海岸でカヌーの乗り方などを練習してきました。

当日は、早朝に岩船港を漁船で出発し、午前8時ごろに粟島浦村に到着。1人乗りと2人乗りのカヌーに分乗し、脇川漁港を目指しこぎ出しました。暑い日差しの中でしたが、ほぼ予定通りの午後2時すぎに全員が到着。約6時間かけた挑戦を成功させた参加者らは、充実した顔でお互いの健闘をたたえ合いました。

最年少で参加した関川小学校3年生の佐藤あらた（松ヶ丘）くんは、「カヌーで最初に海に出た時は、すごく怖か



った。途中でリタイヤしたくなっただけ、お父さんが後ろで励ましてくれたので、最後まで頑張れました。最後までやるのが出来て良かった」と達成感に満ちた顔で話してくれました。

実行委員会では、9月19日にも同様のカヌー横断を計画しています。

子どもたちも大喜び!

～タランペクラブ夏の陣～



子どもたちに自然とのふれあいを通して、生きる力を身につけてもらうことを目的に、タランペクラブ夏の陣（加藤克徳代表・鮎谷）が8月9日に鮎谷橋下の大石川で行われました。帰省中の子どもたちやマリニア日本海のスタッフなど村内外から40人が参加しました。

参加した子どもたちは、かじかとりを楽しんだり、あみを片手に生き物探索をするなどして川遊びを満喫しました。マリニア日本海のスタッフからは、捕まえた生き物の説明があり、子どもだけでなく、大人も説明に興味深々でした。

また、竹を使ったハンバーグ作りにも挑戦。参加した子どもたちが割った竹にハンバーグのたねを詰め、約40分間かけて焼き上げました。捕まえたかじかもその場で焼き、その味に参加者も大満足でした。

2015本の竹灯籠で迎え火!

8月13日に、旧土沢小学校のグラウンドで竹灯籠にローソクの火を灯し、先祖への「迎え火」が行われました。

上土沢竹灯籠の会（岡田周一代表・上土沢）が主催したもので、今回が初めての取り組み。4か月をかけて準備したという2015本の竹灯籠に約3500本のローソクが設置され、幻想的な世界を作り出しました。

当日は、天候にも恵まれ、和太鼓や尺八、オカリナなどステージ演奏も行われました。オカリナの童謡演奏には、多くの来場者が口ずさみ懐かしんでいました。

岡田代表は、「地域のよりどころだった小学校がなくなって寂しく思っていた。じゃあ明るくしようじゃないかと6人の年寄りが集まって計画した。テーマを愛と笑顔として、その思いが天気してくれたと思う。ぜひ来年もやりたい」と地域への思いを語ってくれました。



自治功労者表彰(高齢者表彰)おめでとうございます まだまだ元気に長生きしてくださいね!

このたび、村のほう賞条例に基づき、自治功労表彰が行われ、満100歳の誕生日を迎えられました横山イシノさんと大沼まんさんに表彰状と記念品料が贈られました。

横山 イシノさん (打上)
大正4年8月2日生まれ



大沼 まんさん (大島)
大正4年8月17日生まれ



新潟県陸上競技選手権大会 ハンマー投げ優勝!



三科大作さん(下関・村上市陸上競技協会)が、7月24日(金)からデンカビッグスワンスタジアムで開催された新潟県陸上競技選手権大会ハンマー投げ競技で見事優勝しました。

決勝での記録は、2位を2mほど引き離す54.16mで圧勝。高校、大学とハンマー投げ競技を続けてきて、優秀な成績を残してきた三科さんですが、意外にも県選手権では、社会人となってから初優勝となりました。

三科さんは「念願だった県選手権で優勝できました。仕事との両立でなかなか練習できませんでしたが、社会人、大学生が出場する大会での優勝はとても価値があると思っています。今後も生涯スポーツとして続けていきたいです」と、喜びを語ってくれました。



3年連続の国体出場!
紀の国わかやま国体へ

瀬賀百花さん(下関・開志国際高2年)が、9月26日(土)から和歌山県で開催される第70回国民体育大会ゴルフ競技女子の部に新潟県代表として出場します。

今年の国体女子ゴルフは、いなみカントリークラブフジ(印南町)で開催。瀬賀さんは、新潟県の国体候補選手で争われるポイント戦5試合を見事トップで通過し、3年連続の国体出場を決めました。

瀬賀さんは「3回目の出場となる今年は、チームのメンバーをまとめながら自分も頑張りたいです。昨年5位入賞でしたが、もっと上位へ行けると思いました。今年は優勝したいので、応援よろしくをお願いします」と、抱負を語ってくれました。